

ベストミックスの構築に向けた施策展開の推進

- ・アフターコロナの時代に向けて、利用者増加に繋げるための様々な取組（機能強化策、利用促進策）を展開し、コロナ禍による利用者の回復を図る
- ・また、地域特性に応じた多様な交通モードを効率的に組み合わせ、利便性の高い公共交通ネットワークを構築
- ・公共交通サービス水準を維持し、市民の移動手段を確保するため、引続き公共交通機関相互の役割分担と連携強化による「総合的な交通戦略」を推進

基幹公共交通の機能強化

基幹公共交通となる鉄道・軌道・幹線バスの定時性・速達性・輸送力の向上にむけ、各公共交通機関の特性に応じた機能強化を図る

事業(2)乗換拠点の整備

- ・交通結節機能強化検討
- ・バス停ベンチ設置（待合環境整備）
- ・新水前寺駅高架下駐輪場改修・増設



▲ バス停ベンチ設置

事業(4)公共車両等の走行環境の改善

- ・バスレーン導入に向けた検討

事業(5)バス・鉄軌道等の輸送力の向上

- ・多両編成車両の導入（R5,R6製造）【市電】



▲多両編成車両のイメージ

バス路線網の再編

バス事業者が連携して路線網の再編をすすめ、利用者のニーズに沿った利便性の高い持続可能なバス路線を実現

事業(7)共同経営を中心とした持続可能なバス路線網の再構築

- ・定時性の向上に向けたダイヤ改正
- ・バスの利用促進に向けた取組（利用者属性に応じた取組）
- ・路線バスのデータ公表

事業(8)環状線（まちなかループバス等）の継続

- ・まちなかループバスの試験運行（企画乗車券の拡充）
- ・熊本城周遊バス（しろめぐりんの運行）
- ・東バイパスライナーの運行



▲ループバス

事業(9)輸送資源を活用した交通体系の効率化

- ・地域の実情（輸送需要等）に合わせた交通手段の見直し検討（路線バスからA I デマンド等への転換）

コミュニティ交通の改善・導入

日常生活に必要な移動手段の確保や利便性向上を図るため、多様な運行形態によるコミュニティ交通を導入

事業(10)公共交通空白地域等へのコミュニティ交通の改善

- ・接続先や運行ダイヤの見直し、停留所の移設等

事業(11)新たなコミュニティ交通の導入

- ・市街地及び郊外部におけるA I デマンドタクシーの実証実験（対象区域の拡大）
- ・中心市街地におけるグリンスローモビリティの実証実験



▲ AIデマンドタクシー



▲ グリンスローモビリティ

公共交通の利用促進

行政・事業者等による公共交通の利用環境改善を進めるとともに、住民等の担い手としての意識醸成など利用促進に向けた啓発

事業(15)電停のバリアフリー化

- ・商業高校前及び健軍校前電停のバリアフリー化工事

事業(17)交通事業者等と連携した利用促進

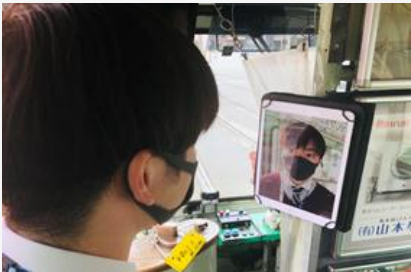
- ・公共交通利用促進キャンペーンの実施
- ・小学生等を対象とした出前講座の実施
- ・「バス・電車無料の日」の実施

事業(19)公共交通のシームレス化の推進

- ・MaaS導入の検討（具体的な事業の創出）
- ・新決済システム（顔認証等）実証実験【市電】



▲ バス・電車無料の日



▲ 顔認証決済システム